



# 攻めの クラウン・ ブリッジ

## S Shape Profileの臨床

行田 克則・著



1995年のthe Quintessence1, 2月号において, “S Shape Profile”が提唱されて20余年が経過した。補綴装置の立ち上がり形態(エマージェンスプロファイル)をS字状に付与することで, より審美的な効果が得られる手法として, 一世を風靡した。『攻めのクラウン・ブリッジ』のタイトルは, あえて歯肉溝を超えて接合上皮部にマージンを設定する接合上皮内マージンからとったもので, 積極的な治療手技で審美性をも獲得できることを意味している。

QUINTESSENCE PUBLISHING  
日本

●サイズ:A4判 ●240ページ ●定価 本体19,000円(税別)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

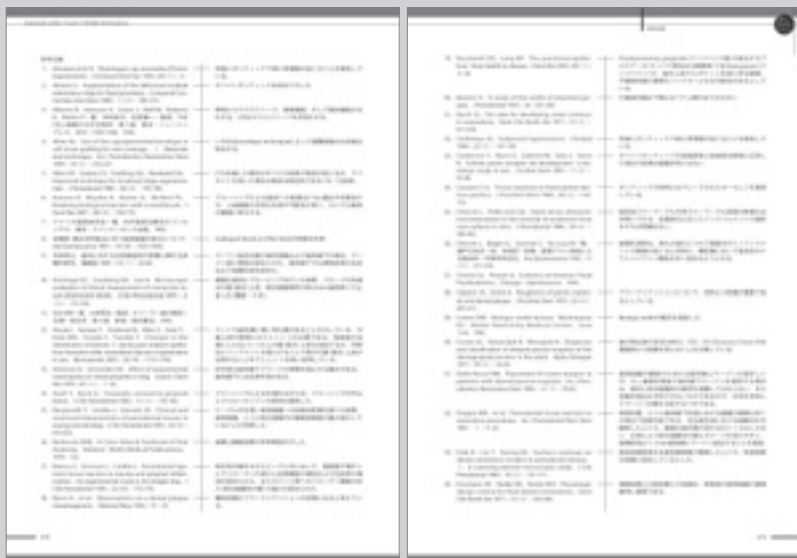
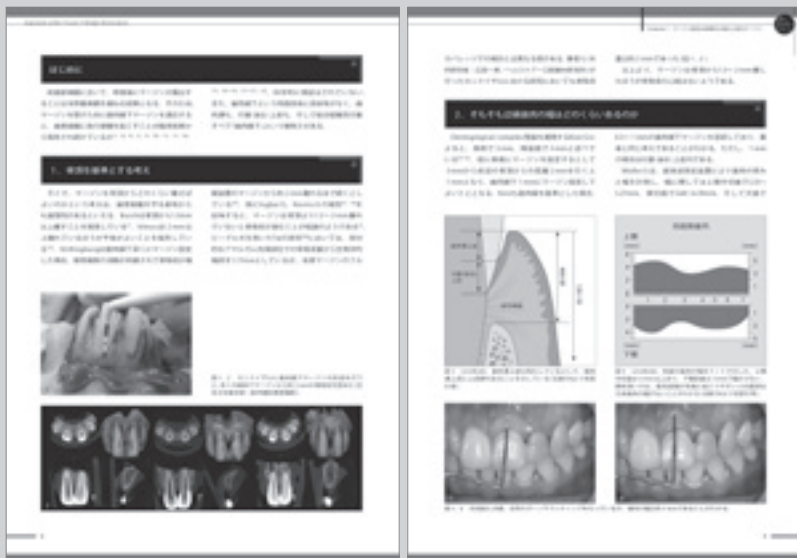
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



接合上皮内マージン, Nameta circleから得られた傾向とその臨床の提案, オベイトポンティックの臨床, ポンティック基底面に接する歯肉の自浄作用の検証を中心に, 100症例を超える提示とともに, 積極的な治療手技で審美性をも獲得できることを提案する1冊. 充実の参考文献も必見!

# Contents

- Preface** 長期安定のための接合上皮内マージン
- Contents 1** マージン設定は結果的に接合上皮内マージン症例 1, 2
- Contents 2** 支台歯周囲の組織学的考察 症例 3~9
- Contents 3** 支台歯周囲組織の生理と臨床的留意点 症例 10~29
- Contents 4** マージンの設定位置の決定と接合上皮内マージンについて 症例 30~33
- Contents 5** 接合上皮内マージンでの支台歯形成 症例 34~41
- Contents 6** プロビジョナルレストレーション (Provisional Restoration:PR) 症例 42~45
- Contents 7** 印象採得 症例46~55
- Contents 8** 補綴装置形態付与 症例 56~79
- Contents 9** 審美的ポンティックとしてのオベイト形態 症例 80~88
- Contents 10** 歯肉を下げない審美修復でのメンテナンス 症例 89~99
- Contents Express** 筆者らの研究から 症例 100~102
- References** 参考文献



Ingenuity of the Crown & Bridge Restoration

きりとり線

## 注文書

## 攻めのクラウン・ブリッジ S Shape Profile の臨床

モリタ商品コード:208040687

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	
支店・営業所		

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
 ※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。